



令和4年度 第35回 日本最優秀鳩舎賞

初受賞 米田幸由司鳩舎鳩舎(ニュー近畿連盟・なんば連合会)

入賞率合計: **0.03682**

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	21XA05273	BC	♀	2,557羽	2位	0.00078
	21XA05250	BCWP	♀	2,557羽	3位	0.00117
	21XA05474	BC	♀	2,557羽	4位	0.00156
地区N	21XA05420	チョコ	♀	1,544羽	4位	0.00259
	21XA05186	BC	♂	1,544羽	5位	0.00324
	20XY00084	BCW	♀	1,544羽	10位	0.00648
桜花賞	20XY00442	BC	♀	315羽	1位	0.00317
	21XA05409	BC	♀	315羽	2位	0.00635
GP	21XA05203	BC	♂	610羽	3位	0.00492
	21XA05474	BC	♀	610羽	4位	0.00656

近畿ブロック連盟初!

最西の日本一ここに誕生!

88年に設立された日本鳩レース協会の最高賞「日本優秀鳩舎賞」。「令和」という新時代を迎えた19年から春の4レースが対象となり、またRgと地区Nが5%内に3羽、GPと桜花賞(※あるいはGN)は連盟序列の10%内に2羽と変更された。春シーズンのみとなったことで規程は緩和されたわけだが、令和になって実質3回目となる22年度に、授賞資格を得たのは23鳩舎に止まった。全国的に厳しいシーズンとなる中、全国1位にあたる「日本最優秀鳩舎賞」は史上初、近畿ブロック連盟から誕生した。新たな歴史を築いたのは、米田幸由司鳩舎(なんば)。日本で唯一チョコ色の系統化に成功し、大和連盟時代では無双を繰り広げた近畿鳩界きつての実力派である。果たしてここに日本鳩レース界最西の日本一が誕生した!

米田幸由司鳩舎のプロフィール

- 鳩歴: 32年 ・ レース歴: 32年
- 鳩舎規模: 種鳩10坪100羽 選手鳩10坪300羽
- 主力系統: エクセル輸入系
- 代表翔歴: 日本AP賞全国5位、
全日本ゼネラルCH賞全国8位
ブロックCH賞2回
300K~1000K各総合優勝

22年春のスタート羽数: 200羽 (うち成鳩50羽)

**厳しいシーズンの中で示された
日本一にふさわしい成績!**

日本鳩レース界の最高賞として君臨する「日本優秀鳩舎賞」は、令和4年度をもって35回目を迎えた。1つの節目の中、規程をクリアしたのは23鳩舎に止まる。年間から春レース限定に変更された過去2回——19年(*26鳩舎)と21年(*31鳩舎)と比べてもこの数は少なく、また受賞のボーダーラインとなる入賞率も「18%」と大幅に膨らんでしまった。22年春シーズンは、例年より厳しかったということなのだろう。

しかし日本一を意味する「日本最優秀鳩舎賞」は別格ということなのか、叩き出された入賞率は「3%台」! この数値は近年においてトップクラスであり、また成績も10ポイント全てがベストテン入りと「王者」にふさわしきものだ。

日本最優秀鳩舎賞に輝いたのは、**米田幸由司鳩舎(なんば)**。近畿ブロック連盟初の日本一の誕生である。同鳩舎は鈴木隆鳩舎(埼玉北葛)、飛田輝明鳩舎(茨城北)、ピグマリオンロフト(常総中央)のように初受賞でいきなりトップを射止めた形であるが、彼らと同じ伏兵による物語ではない。総合レースにおける優

勝数は22年終了時点で「49」までにのぼり、とりわけ19年まで在籍した大和連盟における無双劇はあまりにも有名だ。協会タイトルでも「日本ゼネラルC H賞(*21年)」、「日本A P賞(*07年)」を射止めており、まごうことなき全国レベルの強豪というわけである。

**A Pファクトリーと化した
米田鳩舎の代名詞「ネヴェエ」**

これまでの軌跡、そしてこの度の日本一選出の原動力となったのは、90年代から00年代初頭にかけて導入してきたオランダ産スパーC Hの血だ。米田鳩舎は客観的評価とされる「翔歴」を重視して種鳩を導入しており、その象徴が同鳩舎の代名詞となっている「チヨコレート色のスパーC H」「ネヴェエ」であろう。むろんポイントゲッターには全鳩この血が流れており、うち地区Nの1番手「21X A O 5 4 2 0」はチョコ色だ。配合は「ネヴェエ」の近親鳩に「マリアテレサ」、「モイイエ・ダーン」、「ル・フォーユ」といった別のスパーC Hを絡ませたアウトブリードが多い。かつ自身の総合優勝鳩、あるいはA Pの直仔や孫といったケースも目立っており、元は欧州産だが、山越え必須な近畿地区に適応——

実戦ラインに昇華されていることは明白であろう。

ポイントゲッターとして2点以上稼いだのは、R GとG Pでそれぞれ総合4位を取めた「21X A O 5 4 7 4」のみで、この1羽も連盟の「銘鳩賞(*ベストテンに3回)」を受賞しているものの、本号の表紙に選ばれた「ベスト」の「**20XY00442**」は、桜花賞を制しただけでなく、ゴールドエクセレントビジョンに認定。米田鳩舎ではこのようなA Pが多数輩出されており、昨年の秋も「銘鳩賞」、「オートムA P賞」を勝ち取ったスパーレーサーが誕生している。つまり選手鳩は一発屋ではなく、能力値が平均して高いA Pタイプばかりというわけだ。

勝因は自動給餌機?

一方の管理面では、米田鳩舎自身73歳でありながら、仕事はまだまだ現役ということで、趣味に割ける時間は決して多くない。そこで2年前から自動給餌機を使うことで、自身の負担を軽くし、結果調教面に集中できるようにした。さらに昨春には、訓練を手伝ってくれる鳩仲間まで現れるにいたり、これまでインターバルでは多くて2回(*40K、60K)止まりだったところに90Kが



★2年前から自動給餌機を使用。昨春は常に満腹になるまで食べていたようだ。

プラスされ、運動量が増加。自動給餌機は常に満腹になるよう配合飼料を多めに設定していたが、シーズン中の調教期間は常に完食状態だったという。「よく飛んでよく食べる」の好循環が自ずと作られていたということになるわけだが、1レースならまだしも1シーズンで考えれば、このスタイルだと必ずどこかでガス欠を起こしてしまうもの。しかし米田鳩舎の成績を見ての通り、終始安定、かつピークといえるのが桜花賞。当人的にはここまで仕上げても勝てなかったことへのフラストレーションは、かなり高かったようだが、実は選手鳩自身「余力あり」のコンディションではなかったのではなからうか。レース鳩の能力、つまりまるところ血統の威力はもはや「極」の領域に達した1つのエビデンスと

日本最優秀鳩舎賞のポイントゲッター総覧

★ニュー近畿連盟地区N1,544羽中総合4位

21XA05420 チョコ ♀ 米田幸由司鳩舎 作翔

- 13XY03981 チョコ 米田幸由司作
“ネヴェ”の直仔×娘
- 12XY04052 B 米田幸由司作 12年秋大和連盟Rg総合4位
- NL01-2213131 ウィナンドジーネン作
バルセロナ1200K3回入賞
- “なにわ姫”02PB02742 B 赤澤正実 作翔
04年中部三地区桜花賞総合優勝

★ニュー近畿連盟地区N1,544羽中総合5位

21XA05186 BC ♂ 米田幸由司鳩舎 作翔

*全兄弟/22年ニュー近畿連盟Rg総合3位

- 16XY02131 BW 米田幸由司 作翔
- 16XY02321 BC 米田幸由司 作

★ニュー近畿連盟Rg1,544羽中総合10位

20XY00084 BCW ♀ 米田幸由司鳩舎 作翔

*21年春GP総合4位

- 全姉/19年大和連盟Rg400K総合優勝
- 13XY03914 BW 米田幸由司 作
- “チャンピオン18”07XY09530 BCP 米田 作翔
07年秋大和連盟菊花賞連盟優勝、スリーアベレージ賞1位
- “マリアテレサ” BW モーリス・デヌセット 作翔
02年ブルージュN64,660羽中最高分速
- 09XY04033 チョコ 米田幸由司 作翔 09年200K4連合会最高分速
- 04XY03170 チョコ 米田 作 “ネヴェ”×“エクセル448”
“モーニング号”00XY07366 B 米田 作翔
近畿連盟ゴールドチャンピオン賞

★ニュー近畿連盟桜花賞315羽中総合優勝

“エクセルチャンピオン49”

20XY00442 BC ♀ 米田幸由司鳩舎 作翔

*ゴールドエクセレントビジョン

- 16XY02349 チョコB 米田幸由司 作
13年春大和連盟500K総合優勝の直仔 “ネヴェ”の近親(玄孫×曾孫)
- 14XY02252 BC 米田幸由司 作
- “エクセル・カキザキ” BC 米田 作翔
00年秋近畿連盟Rg400K総合優勝
- 05DA45459 BC 米田 作翔
06年兵庫県・大和二地区GP総合優勝

表紙の
鳩

★ニュー近畿連盟桜花賞315羽中総合2位

21XA05409 BC ♀ 米田幸由司鳩舎 作翔

- 13XY03940 BC 米田幸由司 作
- “ジェームス・クレイル” BC 米田 作
リモージュN2位×クレイルN優勝
- “モーリエ・マリア” BC 米田 作
“モーリエ・ダーン”(00年ベルジュラックN最高分速)×“マリアテレサ”
- 18XY00364 BC 米田幸由司 作翔
大和連盟桜花賞総合4位、GP総合3位、600K総合3位
全兄弟/下記“CHエクセル伊賀”(伊賀・国際ウィナー300K優勝)
- 14XY02094 BCW 米田 作翔
14年秋大和連盟菊花賞連盟28位 “ネヴェ”近親
- 15XY00013 BC 米田 作 種鳩
マルセイユIN12,158羽中3位×“ネヴェ”の娘

★ニュー近畿連盟GP610羽中総合3位

21XA05203 BC ♂ 米田幸由司鳩舎 作翔

- “エクセル伊賀121”18XY00121 BC 米田幸由司 作
伊賀国際親善600K49羽中2位
- “チャンピオン34”16XY01477 BC 米田 作
16年秋大和連盟Rg400K253羽中総合優勝
- 14XY02235 米田 作 15年KBD会長賞近畿地区4位
- “CHエクセル伊賀”18XY00187 BCW 米田幸由司 作
19年度伊賀・国際ウィナー300K優勝他 “ネヴェ”の曾孫

★ニュー近畿連盟Rg2,557羽中総合2位

21XA05273 BC ♀ 米田幸由司鳩舎 作翔

- 18XY00002 エクセルロフト 作 種鳩
“ル・フォーユ”(13年サンパンサンIN2位)×
“チャンピオン27”(13年秋大和連盟Rg総合優勝)
- “CHOCOLATE 26” チョコ 米田幸由司 作翔
18年秋大和連盟スリーアベレージ賞1位、銘鳩賞
“マリアテレサ”(02年ブルージュN最高分速)の直仔×
“チャンピオン37”(18年春大和連盟Rg400K総合優勝/
01年ベルジュラックN最高分速“ネヴェ”の筋)

★ニュー近畿連盟Rg2,557羽中総合3位

21XA05250 BCWP ♀ 米田幸由司鳩舎 作翔

*全兄弟/22年春ニュー近畿地区N総合5位

- 16XY02131 BW 米田幸由司 作翔
17年春大和連盟400K総合9位
- 16XY02321 BC 米田幸由司 作
- 03XX14138 BC 米田 作
“ネヴェ”×“マリアテレサ”(ブルージュN最高分速)
- “チョコレート4035” チョコ 米田 作翔
09年秋大和連盟楓賞連盟2位 “ネヴェ”の筋

★ニュー近畿連盟Rg2,557羽中総合4位

★ニュー近畿連盟GP610羽中総合4位

21XA05474 BC ♀ 米田幸由司鳩舎 作翔

*ニュー近畿連盟銘鳩賞、AP賞2位、イヤリングAP賞2位

- 18XY01929 DC 米田幸由司 作
- 06XY02270 DC 米田 作翔
- “チャンピオン37”17XY00692 チョコ 米田 作翔
18年春大和連盟Rg総合優勝 “ネヴェ”近親
- 19XY01175 BC 米田幸由司 作
- “スーパーマルセイユ”N12-1867260 BC
マルセイユIN2位・N優勝
- “チャンピオン39”13XY04030 チョコ 米田 作翔
18年春大和連盟桜花賞1000K総合優勝 “ネヴェ”の孫

言つて過言ではない。
さて米田鳩舎自身、22
年春は前述の通り「なぜ、
勝てない？」という気持
ちが大きく、「日本優秀鳩
舎賞」を意識したのは最
終レースの直前。しかも
持ち寄り前日とのことだ。
「周回から日本優秀鳩舎
賞を狙える位置にいると
聞きました。しかも桜花
賞でもし総合ワンツウを
獲れば」と空気を入
れられましてね(笑)。
本来ストックするはず

の選手鳩を桜花賞に追加投入した
ことは、知る人ぞ知るエピソードで
ある。
果たして自身のみならず、近畿ブ
ロック連盟初の「日本最優秀鳩舎賞」
をもたらした米田鳩舎、むろん所属
するニュー近畿連盟が西日本トップ
クラスの参加羽数、そして好レース
を演出していることも大きく影響し
ており、同鳩舎も20年からこの環境
でレースできることへの感謝の念は
強い。そして「築かれし新たな伝
説は、日本鳩レース界に新時代――
「近畿の時代」が訪れたことを痛烈
に示したと言えよう。



令和4年度 第35回

日本優秀鳩舎賞・全国2位

小川安都志鳩舎(千葉東連盟・東金セントラル連合会)

3回目

入賞率合計: 0.05167

ベストポイントゲッター

★GP千葉東連盟2,765羽中11位

“スーパーエクセレント・ハリー”

19LK11531 RC ♂

小川安都志鳩舎作翔

*スーパーエクセレントビジョン認定



- NL10-4172899 DC C・レイテンス作翔
ボアチェンPO4,494羽中優勝 直仔/22年春Rg総合4位
同腹/“ドンケレキアン”(マオン優勝他シングル3回)
- NL03-2036242 DC N・J・コーエンデル作
“ホーイケ” NL08-1730497 B ヤン・ホーイマンス作
“ハリー”の全兄(*“プリクセム”の孫)×“プリクセム”の娘
- “マリカ” B12-6218620 RC クレルボー&ファンリット作翔
プールジュIP5,156羽中優勝・9,716羽中最高分速
- “シッタールタ” B01-6475898 S
KBDB中距離ナショナルAP賞6位・Prov.2位
- “セレナ” B08-6315628 BCW クレルボー作翔
01年ノヨンAP賞×ガストン作(“カースプール”筋)

小川安都志鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴: 15年 ・レース歴: 15年
 - ・鳩舎規模: 種鳩25坪200羽 選手鳩15坪200羽
 - ・主力系統: ホーイマンス系、ロードホフ系
 - ・代表翔歴: 東日本CH総合優勝、日本AP賞全国4位
スーパーエクセレントビジョン2羽 ブロックCH賞
- 22年春のスタート羽数: 200羽 (うち成鳩34羽)



レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	21LK05343	BC	♂	4,870羽	4位	0.00082
	21LK01902	B	♂	4,870羽	46位	0.00945
	21LK05305	B	♀	4,870羽	62位	0.01273
地区N	21LK01919	BCW	♀	3,748羽	4位	0.00107
	21LK01985	BP	♀	3,748羽	5位	0.00133
	21LK13575	B	♀	3,748羽	28位	0.00747
桜花賞	21LK05380	BW	♀	814羽	2位	0.00246
	21LK13562	BCW	♀	814羽	8位	0.00983
GP	21LK13585	B	♂	2,765羽	7位	0.00253
	19LK11531	RC	♂	2,765羽	11位	0.00398

全国2位は東日本——小川安都志鳩舎が選出された。3年ぶり3度目の「日本優秀鳩舎賞」の受賞となる同鳩舎だが、日本2位はこれで2度目である。しかし今回の方が入賞率的、そして成績的、インパクト的にも「上」だ。17年時のハイライトは連盟止まりであったものの、22年はジャパンカップで総合5位、他GPで総合12位(*連盟11位)を収めた「19LK11531」がスーパーエクセレントビジョンに認定。活躍の幅が広域、かつ全国までに轟き、またこの賞レース以外にも、東日本CHで再開後初の連盟制覇を成し遂げている。

**キャリアハイで
2度目の日本2位!**

その一方で自鳩舎作のCHも、種鳩に加わったことにより戦力に厚みが出てきたと考えている。実は22年のRg、地区Nのシングル鳩は最終レース前にストック。つまりは余力ありでの日本2位だったというわけだ。小川鳩舎の目標は、「日本最優秀鳩舎賞」とかつて果たした「東日本CH総合優勝」であり、現在のところ前者の方をプライオリティとしてしている。「野菜スープ」を使用するなど管理面も創意工夫をしているとあって、「栄光のカイペット」のラストを飾る条件を満たす日は近いかもしれない。

むしろハイキャリアなシーズンだったといえよう。日本優秀鳩舎賞に導いたポイントゲッターは、いずれも再開時に導入した世界的銘鳩の直仔やナショナル優入賞のCHの血で形成。ゆえに前述のスーパーエクセレントビジョンのような輸入同士の交配も見られている。しかし基本は地元の飛び筋との融合であり、中でも「15LK15936(*伊藤信義鳩舎作)×B14・2314118(*オリンピアード003“重近親”)の配合はヒット。今回、3羽のポイントゲッターを生み出していることは、11月号のブロックCH賞の記事で書かせて頂いた。



令和4年度 第35回

7回目

日本優秀鳩舎賞・全国3位

新井 繁鳩舎(埼玉連盟・埼玉北辰連合会)

入賞率合計: 0.09330



ベストポイントゲッター

★埼玉連盟Rg 7,433羽中総合39位
 ★埼玉連盟桜花賞 1,495羽中総合10位
“白鶴エースクイン号” 20KA26388
 B ♀ 新井 繁鳩舎作翔
 *連盟エースビジョン賞1位



レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	21KA15924	B	♂	7,433羽	19位	0.00256
	20KA26388	B	♀	7,433羽	39位	0.00525
	19KA11942	B	♀	7,433羽	43位	0.00579
地区N	21KA15924	B	♂	5,849羽	91位	0.01556
	21KA15945	B	♀	5,849羽	133位	0.02274
	21KA15965	BWP	♂	5,849羽	166位	0.02838
桜花賞	21KA15939	BC	♀	1,495羽	2位	0.00134
	20KA26388	B	♀	1,495羽	10位	0.00669
GP	20KA26370	B	♀	4,411羽	10位	0.00227
	21KA15959	BC	♀	4,411羽	12位	0.00272

- 19KA12007 BC 新井 繁作
- “白鶴900号” 11KA01900 B 新井作
- “白鶴247”×娘 孫/18年春Rg総合優勝
- 同腹の孫/18年東日本CH総合優勝
- 15KA10014 BC 奥住豊・新井共同作
- 孫/22年春北関東連盟Rg総合優勝
- 18-030095 BW 富田欣宏作
- 17-071159 BW 富田作
- “寛松エース汐見号”の孫
- 17-071147 BC 富田作翔 200K優勝
- “マリールイズ”4重近親の娘

新井 繁鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴: 55年 ・レース歴: 49年
- ・鳩舎規模: 種鳩7坪100羽 選手鳩5坪150羽
- ・主力系統: 白鶴系、中田ボルドー系、奥住豊鳩舎の飛び筋、ヤンセン系
- ・代表翔歴: Rg、GP、桜花賞各総合優勝
- 全日本ゼネラルCH賞・ダイヤモンドマーク賞
- ブロックCH賞3回 クラウン賞
- 22年春のスタート羽数: 123羽 (うち成鳩27羽)**

未だ発展途上...!
6年ぶりのカムバックはベスト3入り

全国3位に選ばれたのは、10年に「日本最優秀鳩舎全賞」に輝いた、栄光のキャリアをもつ新井繁鳩舎だ。同鳩舎は今回で7度目の受賞となるが、近年は無縁状態が続いており、実に6年ぶりのカムバックである。

22年春は地区N終了の時点で受賞は厳しいと半ばあきらめていたようだが、十八番とする海越えレースから成績が向上。最後の桜花賞ではこれまた得意な高海逆風となったことで、規程の2羽ともベストテン入りを達成する。結果、逆転という形でこの賞レースの埼玉連盟トップにたち、かつベスト3入りとなったというわけだ。なお併催の東日本CHでは総合3位、規程レース外では同展開となった東

日本種内GNでベストテンに2羽という離れ業を演出している。

さて貢献鳩8羽には全て自身が形成した「白鶴系」の血が流れる。プロックCH賞では桜花賞総合2位をベストに挙げていたが、真のナンバーワンはRg総合39位、桜花賞総合10位を収めた「20KA26388」との由。このトリは連盟のAP賞1位に選出されており、もし日本AP賞の規程がレース名でなく、距離で決められていたとしたら全国1位必至の入賞率をマークしているスーパーCHなのだ。22年春どころか、歴代の白鶴系CHの中でナンバーワンという過言ではない。ゆえにこの「20KA26388」は、鳩友である奥住豊鳩舎(埼玉中央)が作翔し、史上初の総理大臣賞全国優勝と日本AP賞全国1位の二冠を果した「あの」歴史的超銘鳩の名を拝借し、「白鶴エースクイン号」という愛称が付けられた。

新井鳩舎自身、このトリと同じく他者との融和によって成長してきたレースマンである。ゆえに勝因は人との縁、とりわけ前述の奥住鳩舎、中田幸雄鳩舎(埼玉南部)、そして「白鶴エースクイン号」の母鳩の作出者である富田欣宏鳩舎(埼玉北葛)への感謝の念は強い。今年で喜寿を迎えるが、22年は前述の最高傑作他、初めて自鳩舎作で日本AP賞を受賞するなど、実は未だに発展途上。ということとは新井鳩舎の夢である「日本一への返り咲き」は十分に可能なかもしれない。

令和4年度 第35回 日本優秀鳩舎賞・全国4位

奥住 豊鳩舎

(埼玉地区連盟・埼玉中央連合会)

8回目

入賞率合計: 0.10077

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	21KA19828	BC	♀	7,433羽	37位	0.00498
	21KA18616	B	♂	7,433羽	153位	0.02058
	21KA18522	B	♂	7,433羽	157位	0.02112
地区N	21KA18731	B	♀	5,849羽	13位	0.00222
	21KA18651	BC	♀	5,849羽	16位	0.00274
	21KA18711	B	♀	5,849羽	22位	0.00376
桜花賞	21KA18646	B	♀	1,495羽	20位	0.01338
	20KA29544	BC	♂	1,495羽	38位	0.02542
GP	19KA07316	BCP	♂	4,411羽	6位	0.00136
	19KA07653	BC	♀	4,411羽	23位	0.00521



奥住 豊鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴: 55年 ・レース歴: 55年
- ・鳩舎規模: 種鳩15坪150羽 選手鳩7坪150羽
- ・主力系統: CHエースクイン号、ゴッドR、プロア・レーザ各直系
- ・代表翔歴: 日本AP賞2羽 (*全国1位1回)、ブロックCH賞2回 秋Rg、GP、桜花賞各総合優勝
- 22年春のスタート羽数: 156羽 (うち成鳩24羽)

もはや日本一といつていい総合力だが、奥住鳩舎の視線は、やはり日本一である。ランキングも確実に上げてきていることから日本鳩レース界が誇る「埼玉の帝王」の真なる覚醒が、近づきつつあることは言うまでもない。

21年の7回目をもって日本優秀鳩舎賞連続受賞記録で単独トップとなった奥住 豊鳩舎。22年も抜群の安定感を示し、自鳩舎にとつて最高位となる「全国4位」で自身の持つ連続記録をぬりかえた。

継続とは絶対的な力と言われている。体現したのは完成された管理法と「C Hエースクイン号」「ゴッドR」「プロア・レーザ」の3本柱を核とした飛び筋で作られたレーシングチームだ。とりわけ「プロア・レーザ」の血は当たっており、ポイントゲッターの半数以上に流れている。また配合パターンは前述の3筋に異血を織り交ぜたタイプが大半で、使われている素材は「ハリー」いった超銘鳩のそれだ。常に旬の飛び筋と組み合わせて、安定感は絶対的なものへと昇華されていったのかもしれない。

連続受賞記録、最高位で更新!

令和4年度 第35回 日本優秀鳩舎賞・全国5位

飛田輝明鳩舎

(茨城地区連盟・茨城北連合会)

4回目

入賞率合計: 0.11009

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	21HA04050	B	♀	4,865羽	12位	0.00247
	21HA07084	B	♂	4,865羽	13位	0.00267
	21HA04131	B	♀	4,865羽	14位	0.00288
地区N	21HA07044	BC	♂	4,002羽	9位	0.00225
	21HA04072	BC	♀	4,002羽	10位	0.00250
	21HA04017	BCW	♀	4,002羽	11位	0.00275
桜花賞	21HA07028	B	♀	977羽	44位	0.04504
	20HA14664	BC	♂	977羽	45位	0.04606
GP	21HA04043	B	♀	2,595羽	4位	0.00154
	21HA07091	B	♀	2,595羽	5位	0.00193



飛田輝明鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴: 40年 ・レース歴: 40年
- ・鳩舎規模: 種鳩7坪150羽 選手鳩7坪250羽
- ・主力系統: グロンドラス系、ニュー文字系、西村輸入系、栗原明則鳩舎、松浦邦彦鳩舎、うさぎソフト各飛び筋
- ・代表翔歴: 日本AP賞全国1位 (*4羽)、ブロックCH賞2回
- 22年春のスタート羽数: 269羽 (うち成鳩不明)

吸収。19年に日本AP全国1位鳩を生み出したことから、進化していること間違いない。管理と鳩、両方の歯車がかみ合った時、飛田鳩舎を日本優秀鳩舎賞へと駆り立てた「栄光のカーペット」のラストを再び歩くこととなるだろう。

覚醒といえば、全国5位の受賞を決めた飛田輝明鳩舎であろう。17年に初受賞で日本一を射止めると、早くも今回で4回目。そのほとんどが最終レースを迎える段階で、「日本最優秀鳩舎賞候補」に挙げられるほどの勢いだ。22年も然りで、東日本C HあるいはGNで順調な成績を収めれば、2回目の日本一は確実なものだった。しかし持ち寄り直前にレーサーたちがコンディション不良に。投薬でケアはしたものの、結果は2レースとも大敗を喫す。桜花賞はほぼ「ギリ」で5%内に2羽帰還。「日本優秀鳩舎賞」を取りこぼさなかったことが唯一の救いかもしれない。

飛田鳩舎としては、鳩の管理に時間をさけるようになったことが近年の勢いを作り出していると捉えている。加えてグロンドラスの「ジッター」を基点としたマリンラインは和洋の銘血群を

アクシデントで、まさかの失速



令和4年度 第35回 日本優秀鳩舎賞・全国6位

古里治彦鳩舎

(ニュー近畿地区連盟・京都雅連合会)

2回目

入賞率合計: 0.12533

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	21XA00390	BW	♂	2,557羽	1位	0.00039
	21XA00071	BW	♀	2,557羽	14位	0.00548
	20XA10861	BW	♂	2,557羽	40位	0.01564
地区 N	19XA09195	BC	♀	1,544羽	6位	0.00389
	20XA10778	B	♀	1,544羽	7位	0.00453
	21XA00009	BWP	♀	1,544羽	11位	0.00712
桜花賞	19XA09193	BC	♀	315羽	5位	0.01587
	21XA00204	DC	♂	315羽	13位	0.04127
GP	21XA00174	B	♂	610羽	9位	0.01475
	21XA00557	BCW	♂	610羽	10位	0.01639

古里治彦鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴: 42年 ・レース歴: 41年
- ・鳩舎規模: 種鳩15坪220羽 選手鳩8.5坪350羽
- ・主力系統: 朝田輸入系
- ・代表翔歴: 日本AP賞2羽、全日本ゼネラルCH賞全国9位、ブロックCH賞、300K、Rg、地区N、GP、桜花賞、西日本村上合同各総合優勝
- 22年春のスタート羽数: 292羽 (うち成鳩53羽)

司鳩舎が示した可能性から、住谷勝三鳩舎(豊中)の受賞最多記録に並んだとはいえず、決して現状に満足してはいないはずだ。その視線の先は日本の頂点「日本最優秀鳩舎賞」ネクストエイジの躍動にニュー近畿連盟の明るい未来を見た!

18年の総合表彰式に出席したことで最高賞——とりわけ「日本優秀鳩舎賞」を意識し始めた古里治彦鳩舎が早くも2度目の受賞である。しかも前回から3ランクアップの全国6位だ! 春シーズンの調整は桜花賞まで低カロリーな餌を使用。コンディションのピークを抑えるという定石の手法を用いつつ、戦力は今は亡き朝田忠則氏経由の輸入系をベースとしながら、全距離対応できるような鳩質、系統を揃えている。結果、規程4レースとも総合シングルを収めており、極めて安定した内容、思惑通りの成果を残した印象だ。

古里鳩舎は、他に西日本村上合同レースを制しており、内容的には協会三天最高賞コンプリートを達した前年——キャリアハイに近いシーズンとなる。しかし今回、同じ連盟に所属する米田幸由司鳩舎が示した可能性から、住谷勝三鳩舎(豊中)の受賞最多記録に並んだとはいえず、決して現状に満足してはいないはずだ。その視線の先は日本の頂点「日本最優秀鳩舎賞」ネクストエイジの躍動にニュー近畿連盟の明るい未来を見た!

キャリアハイで2度目の受賞!



令和4年度 第35回 日本優秀鳩舎賞・全国7位

松浦邦彦鳩舎

(茨城地区連盟・茨城西連合会)

初受賞

入賞率合計: 0.12546

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	21HA01663	B	♀	4,865羽	75位	0.01542
	21HA02151	BC	♂	4,865羽	77位	0.01583
	21HA01684	B	♂	4,865羽	181位	0.03720
地区 N	21HA01663	B	♀	4,002羽	16位	0.00400
	21HA01661	B	♀	4,002羽	17位	0.00425
	21HA02225	BC	♀	4,002羽	27位	0.00675
GP	21HA02202	BC	♂	2,595羽	28位	0.01079
	21HA01615	BCW	♂	2,595羽	36位	0.01387
GN	21HA02166	B	♂	634羽	5位	0.00789
	21HA01662	B	♂	634羽	6位	0.00946

松浦邦彦鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴: 37年 ・レース歴: 37年
- ・鳩舎規模: 種鳩6.5坪120羽 選手鳩6.5坪100羽
- ・主力系統: ニュー——文字系
- ・代表翔歴: GN総合優勝、2位、4位、7位2回、8位、9位、10位、CH総合5位、8位、JC総合優勝2回、10位、ブロックCH賞
- 22年春のスタート羽数: 90羽 (うち成鳩7羽)

とはいえ日本最優秀鳩舎賞だけでなく、ブロックCHも射止めていることから、総合力が高いことは間違いない。松浦鳩舎は今後もスタイルを変えないようだが、シーズンの流れによっては、再び「栄光のカペット」の上を歩くことになるだろう。

09年にJ.Cと東日本稚内GNのダブルベストテンを果たしたことで覚醒した松浦邦彦鳩舎。以降、関東三大長距離レースで総合優入賞を繰り返し、中でも13年に果たしたJ.CとGNのダブル制覇は伝説として、日本鳩レース界史に大きく刻まれている。

関東三大長距離レースのスペシャリストである同鳩舎は、一時この「日本優秀鳩舎賞」を意識し、しかし対象がRgからということまでバイオリズムが狂い、スランプに近い状態に陥ったようである。その後、これまでのように関東三大長距離レースに集中する形に戻すとすぐさま復権。3大会連続(※19年、21年、22年)でベストテン入りを達成したことは記憶に新しい。ゆえに22年も同様のスタイルで参戦。松浦鳩舎も結果的に受賞できたという認識が強いようだ。

マイスタイルで堂々初受賞!

令和4年度 第35回 日本優秀鳩舎賞・全国8位

鈴木 隆鳩舎

(埼玉地区連盟・埼玉北葛連合会)

4回目

入賞率合計：0.13035

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	19KA34792	BC	♂	7,433羽	88位	0.01184
	21KA02506	BC	♂	7,433羽	127位	0.01709
	21KA02633	BCW	♀	7,433羽	135位	0.01816
地区 N	21KA02597	BC	♂	5,849羽	25位	0.00427
	21KA02600	BC	♂	5,849羽	116位	0.01983
	21KA02533	BC	♂	5,849羽	190位	0.03248
	21KA02582	BC	♀	1,495羽	3位	0.00201
桜花賞	21KA02547	BC	♀	1,495羽	4位	0.00268
	19KA34792	B	♂	4,411羽	45位	0.01020
GP	19KA34782	BC	♂	4,411羽	52位	0.01179



鈴木 隆鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：52年 ・レース歴：52年
- ・鳩舎規模：種鳩18坪120羽 選手鳩18坪135羽
- ・主力系統：スプリングストーム系、APTトリプル系
- ・代表翔歴：東日本CH総合優勝、埼玉連盟優勝13回、ブロックCH賞2回 クラウン賞
- 22年春のスタート羽数：135羽 (うち成鳩34羽)

管理については最終レースにピークを持っていくような手法をとっており、ハイレイト通り。相変わらず管理と鳩は熟成されているものの、実は本人のモチベーションだけがなげか低い。ここが補えた時、衝撃的な形で日本一にカムバックするかもしれない。

全国8位に選ばれたのは、今回で4度目の受賞となる鈴木隆鳩舎だ。13年に日本最優秀鳩舎賞、16年には全国2位を射止めた実績者として、今選出はクルールに捉えている。近年、鈴木鳩舎はインパクトを周囲に与えるような成績を残す頻度が増しており22年、桜花賞併催の東日本CH、そして規程レース外のGNで見せた実力(*CHはベストテン2羽、GNは4羽記録)もまた、全関東に衝撃を与えたことは言うまでもない。このような大記録を体現するのは、自鳩舎のCH2羽——「エースビジョントリプル」と「ズプリングストーム」の血だ。そしてこれら2筋は、東日本CH H総合シングル2羽を含め、今回のポイントゲッターの半数以上に絡んでいる。13年に日本一を獲得したことに比べると代は落ちていくものの、22年、そして前述の活躍劇からその輝きは陰るどころか、増している印象だ。

衝撃的活躍で受賞!

令和4年度 第35回 日本優秀鳩舎賞・全国9位

梅島秀章鳩舎

(静岡地区連盟・大静岡連合会)

初受賞

入賞率合計：0.15951

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	21PA02616	B	♂	572羽	1位	0.00175
	21PA02620	スレート	♂	572羽	2位	0.00350
	21PA02637	スレート	♂	572羽	3位	0.00524
地区 N	21PA02633	BC	♀	340羽	1位	0.00294
	21PA02680	B	♀	340羽	4位	0.01176
	21PA02684	BC	♂	340羽	5位	0.01471
	21PA02680	B	♀	85羽	2位	0.02353
桜花賞	21PA02636	BCW	♀	85羽	5位	0.05882
	21PA02605	BC	♀	161羽	2位	0.01242
	21PA02680	B	♀	161羽	4位	0.02484



梅島秀章鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：再開7年 ・レース歴：再開7年
- ・鳩舎規模：種鳩5坪58羽 選手鳩4坪100羽
- ・主力系統：中野長距離系、横地スピード系
- ・代表翔歴：Rg、地区N、GP各総合優勝、ブロックCH賞
- 22年春のスタート羽数：60羽 (うち成鳩7羽)

の循環を作り、また春シーズンには分離を中心として調整を実施。つまりは静岡連盟全体で勝ち取った受賞というわけだ。そして梅島鳩舎の果たした快挙は、同じ境遇にある団体、レースマンたちに希望を与えたといえよう。

静岡連盟にとって18年ぶりとなる日本優秀鳩舎賞の誕生だった。快挙を成したのには、オールドルーキー・梅島秀章鳩舎。近年、最も勢いのあるレースマンである。22年春はRg、地区Nを連続で制した上、規程10ポイント全てがベスト5以内! まさに神がかった成績だ。梅島鳩舎は、地元・静岡連盟での総合優勝鳩、あるいはAP級のレーサーを素材としており、むしろそれだけでコロニーを形成しているといつて過言ではない。地元産の血で作られた自鳩舎の総合優勝鳩もフリーダーとして加わっており、より合理的なレーシングチームとなっている。これに対し管理方法も横地光彦鳩舎(静岡県)を筆頭とする地元の強豪たち直伝といえる手法で、「よく飛ばしよく食わせる」

静岡連盟18年ぶりの快挙



令和4年度 第35回 日本優秀鳩舎賞・全国10位

荻谷純生鳩舎

(茨城地区連盟・茨城北連合会)

初受賞

入賞率合計：0.18700

レース別	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春 Rg	21HA07229	B	♀	4,865羽	79位	0.01624
	21HA04562	BC	♀	4,865羽	106位	0.02179
	21HA07219	BC	♂	4,865羽	126位	0.02590
地区 N	21HA07218	RC	♀	4,002羽	13位	0.00325
	21HA04564	BC	♀	4,002羽	60位	0.01499
	21HA07219	BC	♂	4,002羽	71位	0.01774
桜花賞	21HA07229	B	♀	977羽	7位	0.00716
	21HA07216	B	♀	977羽	25位	0.02559
GP	21HA07219	BC	♂	2,595羽	20位	0.00771
	21HA04563	BC	♀	2,595羽	121位	0.04663

荻谷純生鳩舎のプロフィール

- ・鳩歴：38年 ・レース歴：38年
- ・鳩舎規模：種鳩 5坪50羽 選手鳩 3坪70羽
- ・主力系統：石島 孝鳩舎の飛び筋
- ・代表翔歴：東日本CH総合2位、3位 東日本種内GN総合7位 JC総合7位
関東初山崩CH総合2位、5位、地区N総合優勝2回
- 22年春のスタート羽数：52羽 (うち成鳩4羽)

だ。荻谷鳩舎の場合、使用する系統から「総理大臣賞全国優勝」鳩が生まれており、また自身のベストポイントゲッターは連盟のAP賞を獲得。ポテンシャル的にも「小規模鳩舎の星」として実践、かつ実現して頂きたいものだ。

荻谷鳩舎の22年春のスタートは52羽で、規模的には「小」といったところである。連盟レースの日程が良いこともあって、全戦全集中といったスタイルが実現。調整はRgからGPまではナチュラルで、桜花賞のみが分離。舎外と訓練併用の調教はレースを重ねることに強度をあげ、給餌もほぼ同じバイオリズムだった。代表翔歴通り、照準は関東三大長距離レースという印象である。

さて今回の受賞をうけ、「APが複数羽いれば小規模鳩舎でも日本優秀鳩舎賞をとれるのでは」と実感したよう

0.15%の差で堂々初受賞！
見せた 小規模鳩舎の意地！

日本優秀鳩舎賞受賞回数(3回以上)

- 11回 河原雅基鳩舎 (ベイ東京連合会)
- 9回 及川 茂鳩舎 (新日本連合会)
- 8回 うさぎロフト (茨城北連合会)
奥住 豊鳩舎 (埼玉中央連合会) ↑
藤田淳一鳩舎 (尾北第三連合会)
- 7回 高塚久雄鳩舎 (茨日連合会)
新井 繁鳩舎 (埼玉北辰連合会) ↑
石川誠二鳩舎 (川崎連合会)
岩田誠三鳩舎 (元・東海連合会)
- 6回 鹿島成浩鳩舎 (武蔵野連合会)
- 5回 阿内益雄鳩舎 (元・茨城セントラル連合会)
黒田哲夫鳩舎 (元・上総連合会)
KANDA LOFT (鎌ヶ谷中央連合会)
早乙女節夫鳩舎 (ニュー横浜連合会)
横地光彦鳩舎 (静岡県連合会)
神谷 中鳩舎 (元・尾北連合会)
大橋憲夫鳩舎 (岐阜県連合会)

- 4回 飛田輝明鳩舎 (茨城北連合会) ↑
鈴木 隆鳩舎 (埼玉北葛連合会) ↑
吉田三男鳩舎 (東愛知連合会)
増田和雄鳩舎 (尾張連合会)
- 3回 西野宮秀夫鳩舎 (元・日立連合会)
一文字ロフト (茨城東連合会)
浅野 栄鳩舎 (鹿島連合会)
中田幸雄鳩舎 (埼玉南部連合会)
植竹道夫鳩舎 (元・埼玉連合会)
今田俊児鳩舎 (下総中央連合会)
小川安都志鳩舎 (東金セントラル連合会) ↑
穴戸 馨鳩舎 (東金セントラル連合会)
森川浩吉鳩舎 (上総連合会)
柴田茂昭鳩舎 (東京南部連合会)
永井 勇鳩舎 (元・新日本連合会)
中村・有田共同鳩舎 (東愛知連合会)
小林晴夫鳩舎 (愛知三州連合会)
加藤正祝鳩舎 (東海連合会)
海老利明鳩舎 (富山連合会)
三宅博幸鳩舎 (元・倉敷連合会)

※所属は2022年時点

令和4年度日本優秀鳩舎賞の規程クリア鳩舎一覧

申請鳩舎	合計入賞率
楡山郁夫鳩舎(茨城セントラル連合会)	0.21542
矢口 忠鳩舎(常陸小川連合会)	0.23048
内田忠男鳩舎(埼玉幸手連合会)	0.19206
星野繁雄鳩舎(埼玉中央連合会)	0.19777
今田俊児鳩舎(下総中央連合会)	0.21285
小金谷一男鳩舎(常南連合会)	0.25783
ピグマリオンロフト(常総中央連合会)	0.22819
大沢ファミリーロフト(常北連合会)	0.18715
泉水雅巳鳩舎(木更津連合会)	0.28965
河原雅基鳩舎(ベイ東京連合会)	0.22593
及川 茂鳩舎(新日本連合会)	0.27362
篠田久義鳩舎(東京鳩栄連合会)	0.21311
黒田・阪井共同鳩舎(京阪連合会)	0.30763

※会員名簿順

